

森ビルの親子向け体験活動プログラム「ヒルズ街育プロジェクト」 文部科学省「青少年の体験活動推進企業表彰」受賞 オンライン企画拡充、異業種とのコラボレーション、地元小学校への出張授業などを評価

森ビル株式会社実施する親子向け体験活動プログラム「ヒルズ街育プロジェクト」が、文部科学省主催「青少年の体験活動推進企業表彰」の審査委員会優秀賞を受賞しました。

同表彰は、「社会貢献活動の一環として、青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の機会を推進すること」を目的として、2013年度より実施されています。この度当社が受賞した審査委員会優秀賞は、文部科学大臣賞に次ぎ、優れた活動を実践している企業に与えられるものです。なお、「ヒルズ街育プロジェクト」の受賞は通算7度目※となります。

※審査委員会優秀賞(令和2年度)、審査委員会特別賞(平成26年度)、審査委員会奨励賞(平成27年度、29年度、30年度、令和元年度)



<本物の街「ヒルズ」を舞台に展開>



<コロナ禍を踏まえ、オンラインプログラムを拡充>

<ヒルズ街育プロジェクトとは> (後援:文部科学省、港区教育委員会)

創業から60年にわたり地域の方と共に街づくりを推進してきた当社が、未来を担う子どもたちに、街づくりのノウハウや街の魅力を伝えるとともに、楽しく学びながら次世代の都市のあり方を考える機会として実施しています。六本木ヒルズ、アークヒルズなどの当社が開発・運営する実際の“街”を舞台に、当社が街づくりで大切にしている「安全・安心」「環境・緑」「文化・芸術」をテーマとした多様な体験型プログラムを展開。一般公募によるプログラムだけでなく、近隣小学校のカリキュラムの一環として当社施設への受入や小学校に出向いて行う出張授業の実施など、地域コミュニティにおける子どもの学習機会の提供にも貢献しています。なお、2007年の開催以降、延べ16,000名以上の方々にご参加いただいています。

森ビルは今後も引き続き、六本木ヒルズやアークヒルズなど本物の“街”を“生きた教材”として活用した体験活動を積極的に推進し、未来を担う子どもたちの無限の可能性を拓きながら、また子どもたちと共に学びながら、「都市の未来」を切り拓いてまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社広報室 田部、福本

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

(参考) ヒルズ街育プロジェクト コロナ禍での3つのチャレンジ

1. 街育オンラインプログラムの拡充

2020年9月に、オンラインプログラムを初開催しました。事前に教材を送付したり、ヒルズ内で撮影した動画を活用することで、従来のリアルツアー同様に、五感を駆使した体験学習を提供しました。また、Zoomの投票機能やチャット機能を活用した双方向の学びも実現。さらに、「ツアーに参加して終わりではなく、いかに継続的な学びに繋げていくか」というかねてからの課題に対する解決策として、子どもたちが継続的に学びを深められるオンラインの学びの場「街育ひろば」を立ち上げました。参加者には、自分の住む街を探検する事後ワークを出し、探検で得た発見や気づき、自身のアイデアなどを投稿してもらいました。横浜市在住の小学4年生は、「地下鉄の車内に季節の花を飾ったらスマホをしている人が少なくなり、困っている人に声をかけられるようになるのではないかと考え、地下鉄に緑をふやすためのアンケート調査を行った様子を投稿してくれました。ご本人へのインタビューで、「街育ひろば」で他の参加者からもらった「いいね」に後押しされてアンケート調査を行ったとのコメントがあり、コミュニティがプログラム実施後の子どもたちの学びや行動を促す一助となっている事が伺えました。

工夫1：五感を刺激する体験型コンテンツ



中身が見えないように送付した封筒をツアー中に開封し、ローズマリーの香りを体感



実験教材「紙ぶるる」を使用し、地震に強い建物の工夫を学習

工夫2：双方向コミュニケーションの充実



投票機能を活用し、複数のクイズに選択式で回答

ツアー中、先生が質問を投げかけチャット欄に自由回答を記入

工夫3：動画を活用してヒルズを探索



六本木ヒルズの屋上庭園



六本木ヒルズの備蓄倉庫

ヒルズの事例を参考に自分の街について考えてもらうべく、事前に動画を撮影。六本木ヒルズの屋上庭園に生息する生きものや、一般非公開の備蓄倉庫の映像をツアーで放映した

工夫4：コミュニティの醸成



ツアー後に自分の住む街を探検するワークを案内。各自が取り組んだ内容をオンライン上で発信・共有することで、参加者同士の交流を促す街育コミュニティを醸成

2. 異業種企業とのコラボレーション

東日本大震災から10年を迎えた2021年3月に、防災・減災への取り組みを積極的に推進するあいおいニッセイ同和損保株式会社と協働し、コラボレーションプログラムを初開催しました。お互いの得意分野と専門性を掛け合わせて、「震災対策を学ぼう！安全と安心のヒミツ探検ツアー」の内容を拡充。自然災害のリアルタイム被害予測や自宅周辺の避難場所を確認できる、あいおいニッセイ同和損保が開発したスマートフォンアプリ「cmap(シーマップ)」を実際に操作するパートを設けることで、災害時にとるべき具体的な行動について実践で学びました。

3. 年間を通じた地元小学校へ出張授業

港区立御成門小学校5年生(62名)を対象に、より良い街づくりのために自分たちができることを考え、進んで街づくりに関わろうとする意識を育成するために、年間を通じて出張授業を実施しました。小学校の隣で当社が推進中の「虎ノ門・麻布台プロジェクト」を題材として、再開発事業の意義や仕組みについて学ぶとともに、架空の街が抱える課題を見出し、グループで話し合いながら解決策を考える体験型ワークショップを実施。子どもたちが互いの意見を出し合い、グループの中で合意形成を図りながら、「理想の街」を模造紙に描いて表現しました。その後、学校周辺のフィールドワークを経て、まとめの授業では、「課題を解決して、より良い街にするために自分たちに出来る取り組み」についてアイデアを出し合い、発表し合いました。